生涯学習推進

録画配信

つぶやき
誰もが学びを検索、
受講しやすい仕組みを

佐藤（さとう） 太信（たかのぶ） 議員

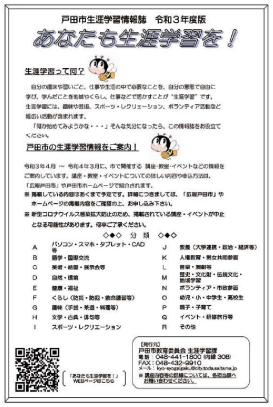
Q 第5次生涯学習推進計画の取り組みは

A 改善や実施可能なものについて進める

議　員　令和3年度から第5次生涯学習推進計画（5カ年）がスタートした。生きる希望や楽しみが実感できる学び、きっかけづくりが必要と考える①デジタル化に伴い、パソコンが苦手な方に対するサポートは②市民が講座を企画したい場合のサポートは③子育て世帯への支援は④障害者への配慮は⑤市民意識調査での課題を施策に反映する方法は。

教育部長　①オンライン受講に対するサポートは、生涯学習課で相談に応じている②提案から企画・開催まで市民と共に学ぶ取り組みを進める市民企画講座がある③オンライン・オンデマンド講座の開催や託児サービスを含め、支援の充実策を検討する④オンライン開催により、重度の障害者や人前に出るのが苦手な方などにも自宅で受講できる環境を整えたり、講座の一部に手話通訳、啓発チラシには文字や色のバリアフリー、ルビやSPコードをつけるなどの伝わる工夫を行った⑤改善や実施可能なものについて進めていく。

議　員　市ホームページに掲載している講座情報は、他自治体が実施している取り組み例が大変参考になる。講座情報の取得や検索がしやすくなるよう、情報発信の充実に向けた予算化を要望する。



生涯学習情報誌ではさまざまな講座・教室を紹介しています

経済対策

録画配信

つぶやき
各種支援の遅れや
届かないなどの改善を

そごう　拓也（たくや） 議員

Q 事業者への支援、市民への支援は

A 経済対策を必要に応じて実施

議　員　感染状況や社会状況を踏まえた事業者への支援、PayPayキャッシュレス決済ポイント還元事業について伺う。

環境経済部長　小規模事業者などに10万円の臨時給付金、デジタル化推進補助など、支援を実施した。PayPayキャンペーンはキャッシュレス決済推進を目的に実施した。1回目は最大20%、2回目は最大30%のポイントを還元し、参加店舗数は約1,500店舗、計約9,700万円分のポイント還元が行われ、経済効果は約4億4,400万円だった。PayPay利用者数は前月と比較し、1回目は60%、2回目は84%増加した。キャンペーンの効果として、デジタル化が推進された。

議　員　①地域くらし応援券の概要は②券が届かないとの苦情の有無やその対応は③本事業の効果は。

環境経済部長　①消費活性化による事業者支援と市民生活の支援を目的に5千円分の応援券を配布した。配送は日本郵便・佐川急便により実施した。令和3年12月20日に配布を開始し、1月15日に完了した②いつ届くのかとの問い合わせを受けた。状況を確認し必要に応じて再交付を行った③大型店舗を中心に多くの店舗で使われ、消費促進を図れた。

コロナ禍で実施された経済支援策

国際化

録画配信

つぶやき
多様性を認め合える
社会になるといいな…

宮内（みやうち）　そうこ 議員

Q 日本人と外国人の多文化共生への推進を

A 多文化共生へのまちづくりを進めていく

議　員　国際化が進み外国人市民が増える中、地域社会においても日本人市民と外国人市民が共に文化の違いや多様な価値観を認め合い、互いに尊重し合って暮らしていくことがますます重要であるが、本市における多文化共生推進への取り組みは。

市民生活部長　市と国際交流協会が中心となり、多文化共生に向けた地域づくりを進めている。市民への意識啓発や、国際交流イベントの内容や周知方法を工夫し、外国人市民への支援体制のさらなる充実に努めていく。

議　員　グローバル化が急速に進む中、子供たちが義務教育の中で国際性を身に付けていくことはますます重要であると考える。本市の小中学校での英語教育は。

教育部長　小中学校9年間の一貫した英語教育を通して、互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができるように、豊かな国際性を身に付ける子供の育成を目指している。本市の特徴としては、すべての小中学校にALTを毎日配置している。

子供も大人も国際化

ふるさと納税

録画配信

つぶやき
一工夫で更なる利便性の
向上が見込めます

古屋（ふるや）　としみつ 議員

Q 本市ならではの特別な体験型返礼品は

A 柔軟な発想で取り組む

議　員　ふるさと納税制度により、直近では、概算で約3億9千万円の流出となっている。本市への寄付金額を増やすためにも、本市ならではの他では体験できない特別感のある体験型返礼品の開発が必要では。

環境経済部長　本市ならではの体験と、その魅力発信は大変重要なこと。従来にとらわれない柔軟な発想で取り組んでいく。

Q 親子ふれあい広場の開室時間の延長は

A 利用時間について慎重に検討する

議　員　西部福祉センターのように空き室がある施設から、午後の時間延長を試験的に運用してはどうか。

こども健やか部長　現在のコロナ禍の状況下においては、親子の居場所の確保は重要である。午後の開室は、感染収束後の子育て支援施策全体の中で、慎重に検討する。

その他の質問

Q 谷口橋付近の歩道は傾斜と段差で、特に車いすには危険な箇所がある。

A 歩道の切り下げ部の勾配を緩くするなど、車いす利用者に配慮した改良を実施する。

市内には至るところに段差が見られます